

事業所名称	法人本部	定員	
サービス種別	法人事務局		
サービスの特色・方針	<p>理事会・評議員会を運営します。</p> <p>会計・労務等、各事業所に共通する事務機能を担います。</p> <p>各事業所を横につなげることで法人の機能を高めます。</p>		
社会福祉への取り組み	「認知症にやさしい地域を創る会」への参加、運営事務		

今年度の挑戦		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（K P I）
利用者	<p>■<u>感染症等発生時のサービス継続、早期再開を図るための計画策定</u></p> <p>○業務継続計画を策定するにあたり各施設の連携を図る。</p>	
財務	<p>■<u>中長期事業計画の策定</u></p> <p>○既存施設を建て替える時期とそのため の積立金の目標額を設定する。</p>	
業務	<p>■<u>給与計算システムの刷新</u></p> <p>○計算処理の自動化と将来的な事務手続きの電子化に対応できるシステムを導入する。</p> <p>■<u>業務のICT化に伴う環境整備</u></p> <p>○セキュリティ対策の強化とバックアップ方法の見直し（2重化）</p> <p>○ファイル共有（サーバー）の運用見直し。ペーパーレス化による施設外部への（書類に代わる）情報の持ち出し手段を検討する。</p>	<p>○給与計算システムの導入 選定 令和3年10月 移行 令和4年1月</p> <p>○UTMの配置 年度内に全ての施設に配置</p>
人材	<p>■<u>働きやすい労働環境整備</u></p> <p>○公休日数の引き上げを検討する。</p>	

事業所名称	特別養護老人ホーム 紫雲の園	定員	入 所 90名 短期入所 9名
サービス種別	介護老人福祉施設 (介護予防)短期入所生活介護		
サービスの特色・方針	法人理念である「大慈愛心」を実践するため、困難な事例においても積極的に関わりを持ち続けることが、ご利用者の満足、地域社会の満足、職員の満足に加え、法人の永続性の確保や将来世代の満足に繋がるとい信念を持ち、職員 1 人 1 人の専門性の強化や施設内のチーム力の向上に努めていきます。		
社会福祉への取り組み	比較的安価な自己負担額で利用できる従来型多床室である事が、地域においては大きな福祉財産であるという事を自覚し、法人減免の活用促進や生活困窮者の受け入れを積極的に行ってまいります。		

今年度の挑戦		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
ご利用者	コロナ禍においてもご利用者様に楽しい時間を過ごしていただくために、花の家、森の家それぞれにおいて新たなイベントを開催する。	相談員が主幹となり企画し、各家行事担当と連携して4ヶ月に1回程度の間隔で実施していく。
財務	質の高い福祉サービスを永続的に提供し続けるために、高水準なサービス利用率の維持を目指す。	営業活動、情報発信、サービス向上等、利用率向上に繋がる行動目標を各部署が立案し、指標管理していくことによって、入所稼働率 98%以上、短期入所の稼働率が 72%以上であること。
業務	業務の効率を高めるために、導入された機器やシステムの使用方法を職員全体でマスターする。	職員の習熟度を測るための進捗管理表を作成して、各部署で毎月チェックしていくことによって、年度内に介護記録、日誌、報告書などの書類のうち、70%以上が電子化されていること。
人材	施設の業務を円滑に進めていくために、職員間の報連相を徹底する。	発生した事例や事故に対し、リスク事例検討委員会が要因分析を行い、その結果を受けた該当部署が、早急に改善策を立てて行動に移すことによって、報連相不足による事例や事故を 0 件にすること。

事業所名称	浅羽デイサービスセンター	定員	通所介護・現行相当 50名 通所型サービスA 15名
サービス種別	通所介護（第一号通所事業を含む）		
サービスの特色・方針	<p>多数の有資格者を配置し、安心・安全にサービスをご利用いただけます。</p> <p>入浴方法は一般浴・個浴、中間浴、機械浴があり、その方に合った入浴方法で対応します。レクリエーションは、身近な器具を使って体操をする機能訓練、ゲーム等で楽しみながら体を動かす遊びリテーションとグループに分かれて活動をしています。おやつ作りや調理、制作、野菜作りなどの他に、ボランティアの方による書道や詩吟、絵手紙、フラワーアレンジメントなども行なっています。1ヶ月に3団体以上のボランティアの方が歌や踊りなどを披露していただき、ご利用者の楽しみにもなっています（現在はコロナ禍のため休止）。</p> <p>機能訓練指導員による機能訓練を実施し、希望者にはマシンを使用したパワーリハビリも行っています。</p> <p>ご利用者が住みなれた家であるべく長く過ごせるように、職員が一丸となり自立支援に取り組んでいます。</p>		
社会福祉への取り組み	社会福祉法人利用者負担減免制度があります。		

今年度の挑戦		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（K P I）
ご利用者	<p>■ <u>自立支援を目標とした統一したケアの実施。</u></p> <p>■ <u>日課の見直し</u></p>	<p>○ ケース会議の実施 2回/月</p> <p>○ バーサルインデックスを使用した評価の実施。</p> <p>○ 活動内容の変更 4月～ マニュアル化 7月～</p>
財務	<p>■ <u>稼働率 90%（利用者 41名/日）を達成する</u></p> <p>○ 営業活動の継続。</p> <p>○ ホームページを毎月更新し、内容を充実させる。</p> <p>○ リーフレット配布</p> <p>■ <u>コスト削減</u></p> <p>■ <u>新たな加算に挑戦</u></p>	<p>○ 月間稼働率 [目標値] 90%</p> <p>○ 居宅支援事業所へ営業訪問 2回/月</p> <p>○ ホームページ更新 1回/月</p> <p>○ 物品の見直し</p> <p>○ 全職員が意識して経費削減に取り組む</p> <p>○ 個別機能訓練加算（Ⅱ） ADL維持等加算（Ⅰ） 科学的介護推進体制加算</p>

<p style="text-align: center;">業 務</p>	<p>■ <u>事例、ヒヤリ・ハット報告書を基に リスクマネジメントを行う。</u></p> <p>○ヒヤリ・ハット報告啓発活動。</p> <p>■ <u>ケース会議の見直し</u></p> <p>■ <u>営業方法の見直し</u></p>	<p>○会議の場を設け、予防策を立てる。 会議 2回/月</p> <p>○成功事例を写真や動画などの媒体を 使い家族に報告する。</p> <p>○利用者の作品をケアマネに渡す。</p>
<p style="text-align: center;">人 材</p>	<p>■ <u>接遇をテーマにQC活動を行う。</u></p> <p>■ <u>研修参加</u></p> <p>○内部研修</p> <p>○外部研修への参加、研修報告会</p> <p>■ <u>有給休暇を8日取得する。</u></p>	<p>○計画 6月</p> <p>取り組み 7月～9月</p> <p>評価 10月</p> <p>○1人につき1講座以上の参加。</p> <p>○認知症介護基礎研修、認知症介護実 践者研修、認知症介護実践リーダー 研修等</p> <p>○計画的に取得する。</p>

事業所名称	浅羽ケアマネジメントセンター	定員	5名
サービス種別	居宅介護支援事業所		
サービスの特色・方針	<p>特色：「その人」に合わせて、その人の繋がりを大事にして、自立支援に資する適切なケアプランの作成に励んでいます。</p> <p>方針：自立生活支援の基本理念を常に念頭におき、地域での暮らしを支援する。</p>		
社会福祉への取り組み	<p>○地域特性を意識し、地域課題を考察する</p> <p>○「このような資源があればいい」という発想で地域づくりに視点を持つ</p>		

今年度の挑戦		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（K P I）
利用者	<p>■適切なマネジメントの実施</p> <p>○利用者の尊厳を守る対応ができる</p> <p>○利用者の生活をよく理解し、個別の計画を共に創る</p> <p>○地域支援の視点を持って関わることができる。</p>	<p>適切なマネジメントが行われているか</p> <p>最低でも月1回ご自宅を訪問しモニタリングを実施する</p>
財務	<p>■選ばれる事業所となる</p> <p>○法人内外の事業所との連携を図る</p> <p>○法令遵守する</p> <p>○特定事業所加算の取得</p>	<p>R3年度給付管理件数目標：165件（介護給付のみ）</p> <p>○法令遵守する</p>
業務	<p>■利用者の生活を良く理解し個別の計画を共に考えて創り支援を必要とする人の存在を認め適切な対応ができる</p> <p>○利用者自身の理解を深める</p> <p>○生活課題の問題解決のために地域への視点を持つ</p> <p>○利用者だけではなくその周りに暮らす人々とのつながりを大事にする支援</p>	<p>○自立支援に資するケアプラン作成</p> <p>○アセスメントを地域との接点で把握する</p> <p>○地域に在る資源や機関と連携を図る</p> <p>○健全なる給付の実施</p>
人材	<p>■専門的な倫理・知識・技術の獲得を目指す</p> <p>○課題解決や生活問題の緩和のため専門的知識や技術を学ぶ</p> <p>○自分の実践を振り返り、結果を理解評価できる</p> <p>○目標が習得できるよう研修に積極的に参加する</p>	<p>○主任ケアマネは法定研修以外の研修に年4回以上参加する</p> <p>○各自の目標にそった研修には積極的に参加する</p> <p>○相談援助者として日常的にストレスを浴びるのでソーシャルサポートしていき離職者を減らす</p>

事業所名称	浅羽地域包括支援センター	職員数	6名
サービス種別	地域包括支援センター		
サービスの特色・方針	地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援していきます。センターでは、保健師・社会福祉士・主任ケアマネージャーの3職種と生活支援コーディネーター・認知症地域支援推進員・介護支援専門員が配置されています。地域に暮らす住民等の困り事においては、それぞれの専門性を活かし、様々な機関と連携し業務を行っています。又地域のネットワークを駆使して解決に努めます。		
社会福祉への取り組み	介護予防、日常生活への支援体制構築に努めます。又、地域に出向き活動に参加し住民の声を聞き取り、声が形になるよう取り組みます。		

今年度の挑戦		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
利用者	<p>■<u>地域アセスメントへの取組</u></p> <p>○地域住民の課題に向き合いながら、一緒に考えながら取り組む。</p>	<p>地域住民等の意見を幅広く汲み上げそれらを各関係機関と地域住民と連携を図り、課題に取り組みます。</p>
財務	<p>■<u>限られた財源の中で、計画的に活用</u></p> <p>○ケアプラン作成において、各自負担増にならないよう取り組む。</p>	<p>国民の介護保険料や国・地方公共団体の公費によって、賄われていることを十分に認識の上活動します。</p> <p>予防プランの作成には、専従業務に支障がないように、委託事業所と連携を図りながら、取り組みます。</p>
業務	<p>■<u>市から示された重点取組事項の推進</u></p> <p>1) 介護予防・日常生活支援総合事業の推進</p> <p>2) 在宅医療・介護連携の推進</p> <p>3) 地域ケア会議の推進</p>	<p>1) 現在、住民が取り組んでいる生活支援ネットワーク（移動支援部会）は、2ヶ月に1回開催しています。必ず、参加して連携体制を構築しています。</p> <p>2) 癌末期等で迅速な対応が必要なケースや医療ニーズが高いケースは、市や医療・介護サービスとの連携を図り、在宅生活にスムーズに移行できるように取り組み。</p> <p>3) 困難事例については、適宜個別地域ケア会議を開催する。解決できない問題は、市に提言する。</p>

	4) 認知症施策の推進	1) 市から依頼された認知症サポーター養成講座を積極的に受け、地域の方に認知症の理解を深めるようにする。 認知症初期集中支援チームとの連携し、適切な医療や介護等地域での生活が継続できるようにする。
人材	■ <u>専門性を活かして、包括職員として知識を向上していく。</u>	積極的に必要なWEB研修に参加し、専門性を築いていくように努めます。又、それぞれの専門性を活かしながら、案件に対応できるように職員間の連携に努めます。

事業所名称	ひなた	登録定員	29名
サービス種別	(介護予防) 小規模多機能型居宅介護 (短期利用型含む)		
サービスの特色・方針	<p>利用者が在宅での生活を継続・維持できるように、また、ご家族が在宅での介護を継続・維持できるように「通い」「泊まり」「訪問」のサービスを組み合わせて臨機応変に対応・援助して行く。</p> <p>そのために、利用者ご本人、ご家族と相談を密にし、寄り添う介護を実践する。</p>		
社会福祉への取り組み	<p>①利用者の生活地域での溶け込み援助 ②緊急受け入れと入所までのつなぎ ③はいかい SOS 協力事業所 ④認知症に関する学習や啓発 (認知症にやさしい地域を創る会)</p>		

今年度の挑戦 (令和3年度)		
視点	重点施策 (目的、方法)	指標 (KPI)
利用者	<input type="checkbox"/> コロナ禍でのアクティビティの充実 <input type="checkbox"/> 認知症を患う方への対応力 UP	<input type="checkbox"/> 事業所内で行うメニューを増やす <input type="checkbox"/> ドライブ等の方法を考え、出来るだけ外へ出る機会を模索する <input type="checkbox"/> 認知症の方の理解、対応方法についての研修会の開催 対応の実施と評価の共有 <input type="checkbox"/> 個別ケースに対してのミーティングと情報共有
財務	<input type="checkbox"/> 毎月の目標売上のクリア 安定した事業運営 <input type="checkbox"/> 安定した登録者数の確保 <input type="checkbox"/> 活動情報の発信	<input type="checkbox"/> 月間売上580万円を目指す。 <input type="checkbox"/> 営業活動の強化 登録者数が25名を下回らない <input type="checkbox"/> SNS を使った活動報告の回数を増やす

業務	<input type="checkbox"/> コロナ対応 クラスター防止 安心して施設を利用出来る <input type="checkbox"/> 食事業務の変更の中、質を下げない 為の取り組み	<input type="checkbox"/> カンファやミーティング、担当者会 議等の実施回数 UP <input type="checkbox"/> 業者変更に伴う業務変更に早く慣れ 安定して美味しい食事が提供できる <input type="checkbox"/> 利用者様の評価を伺い、業者を含め 提供方法をモニタリングする <input type="checkbox"/> 食事の業務変更に伴い、他の業務と の調整。遅れなく適温の状態です 食事を提供出来る
人材	<input type="checkbox"/> 接遇力の UP <input type="checkbox"/> TPO に配慮した行動のとれる人材 育成 <input type="checkbox"/> 研修会への積極的参加 <input type="checkbox"/> 自責で行動出来る人材育成	<input type="checkbox"/> 研修会への参加 内部研修、スタッ フ間ミーティングを重ね TPO に則 した対応が取れる <input type="checkbox"/> ウェブ研修を中心に、各種研修会へ の参加率を高める 参加者から他の職員への伝達の間 を設ける

事業所名称	グループホームひなた	登録定員	18名
サービス種別	(介護予防) 認知症対応型共同生活介護		
サービスの特色・方針	要支援2～要介護5までの認知症の方に、家庭的で落ち着いた雰囲気の中、食事の支度や掃除、洗濯などをスタッフと共に行い、生活に満足出来るようなケアを提供する。認知症の方が混乱しないで普通の生活を送る事が出来るよう配慮し、画一的では無く、個々の生活を重視することにより、認知症の進行を穏やかに出来るようケアする。		
社会福祉への取り組み	①利用者の生活地域での受け込み援助 ②緊急受け入れと入所までのつなぎ ③はいかい SOS 協力事業所 ④認知症に関する学習や啓発 (認知症にやさしい地域を創る会、認知症サポーター養成講座)		

今年度の挑戦 (令和3年度)		
視点	重点施策 (目的、方法)	指標 (KPI)
利用者	<input type="checkbox"/> 利用者様個々の情報把握 その方に合ったサービスの提供 <input type="checkbox"/> 安心・安全な生活の提供 <input type="checkbox"/> その方が活躍出来る場を作れるようにする	<input type="checkbox"/> アセスメント 生活歴や好み等、その方の情報収集プラン作り <input type="checkbox"/> 各種マニュアル作り 安心してその方らしい生活が継続出来る <input type="checkbox"/> その方の能力、好きな事や得意な事を見つけ、仕事や役割、活躍出来る場を作る
財務	<input type="checkbox"/> 常時18床 満床での稼働を目指す <input type="checkbox"/> 消耗品の使用量の把握 コスト管理	<input type="checkbox"/> 空床が出た後、2W以内の入所を目指す <input type="checkbox"/> 待機者の方を作れるよう営業活動、待機者からスムーズに入所へ繋げられるようコンタクトを続ける <input type="checkbox"/> 月単位での各種使用料を把握 コスト管理、意識作り

業務	<input type="checkbox"/> 安心・安全に過ごしていただく為の業務マニュアル作り <input type="checkbox"/> 利用者様に楽しんで頂ける企画の立案、実施 <input type="checkbox"/> 地域との連携・交流の機会の確保	<input type="checkbox"/> 各種業務マニュアルの整備 <input type="checkbox"/> レク、アクティビティー、行事等利用者様に楽しんでいただける企画作り <input type="checkbox"/> 2カ月に1回の運営推進会議の開催 <input type="checkbox"/> 地域との関わりを日課や週課に取り込んだプラン作り
人材	<input type="checkbox"/> 接遇を重んじた行動のとれる職員作り <input type="checkbox"/> 自責で行動出来る職員作り <input type="checkbox"/> 個々のスキル UP とチーム力の向上	<input type="checkbox"/> 利用者様、ご家族、来客、電話対応地域の方、職員間でもマナーとおもてなしを重んじた行動がとれる <input type="checkbox"/> 認知症の勉強会 各種研修への参加 <input type="checkbox"/> 承認マネジメント <input type="checkbox"/> チーム間でのコミュニケーションの向上

事業所名称	ルンビニこども園	定員	100名
施設区分	幼保連携型認定こども園		
保育の理念・方針	<p>ルンビニこども園は、「健やかな心」を育てるために、お釈迦様の教え、『仏教』を基本理念として保育・教育します。</p> <p>園名の由来にもあるとおり、ルンビニこども園は仏教保育をするこども園として創設されており、その保育目標を以下の3つとします</p> <p><生命尊重></p> <p>(1) めぐみの心を持ち、生命を尊重できる様に導く。</p> <p><修善></p> <p>(2) 善悪をみきわめ、絶えず正しい方に進む様に導く。</p> <p><協調></p> <p>(3) 自分の立場を考え、他と協調できる様に導く。</p>		
社会福祉への取り組み	在園中の家庭に限らず、地域の子育て家庭に向けても情報の発信に努めます。		

今年度の挑戦		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
子どもと保護者	<p>■保育の標準化</p> <p>○子どもを中心においた保育を模索し、どの職員も同じ対応ができるよう標準化を目指します。</p> <p>○子どもの育つ力を後押しします。</p>	<p>○保護者との連携を密にとり、子ども一人一人にあった保育を提供します。</p>
経営・財務	<p>○新設の Baby 棟とリフォームを終えた Kids 棟により、定員の120%まで子どもを預かることが出来るようになりました。更に認定こども園に移行したことにより1号認定の児童を預かる事も出来ます。安全安心に配慮し、選ばれる園になるよう勤めます。</p>	<p>○2ヶ月に1回程度の園庭開放を実施し、地域に対する園情報の発信に努めます</p>
運営と業務	<p>■ホームページの活用</p> <p>○園の情報発信</p> <p>○利用希望者の増加</p> <p>○就職を検討する学生へのアピール</p>	<p>○ホームページの内容の充実とこまめな更新を図り、園の理解促進につなげます。</p>

職員	<p>■職員のスルアップ</p> <p>○保育士のキャリアアップ制度並びに各種外部研修の受講が事実上義務化されました。これまで以上に参加しやすい人員配置を計ります。</p> <p>■仏教保育について園内研修の充実</p> <p>○若い職員も多くなり、既存職員に対しても新たためて仏教保育について周知する研修を充実させる。</p>	<p>○年度当初の採用はないが、子ども園として充実した保育・教育が提供できるよう、採用活動をすすめる。</p>
----	--	---

事業所名称	ルンビニ第二保育園	定員	90名
施設・事業所類型	保育所		
保育の理念と方針	<p>・仏教を基本理念とし、子ども一人一人を大切にし、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園を目指しています。又、《感謝の気持ち》を育て「ありがとう」が言える心豊かな人間性を持った子どもに育成します。</p> <p>乳幼児期は生涯にわたる人間形成の基礎を培う最も重要な時期です。保育の専門性を活かし乳幼児期を安全に保護育成していきます。又、乳幼児期に身につけなければならない基本的な生活習慣や必要な知識の芽生えを促すため豊かな体験と環境を設定しています。豊かな体験を通して子ども同士のつながりを深める中で保育、幼児教育がめざす人間形成の基礎(学びの土台・育みたい「10の姿」)を育てる為に子どもの主体性を大切にした保育や環境を整えていきます。</p>		
保育の特色	<ul style="list-style-type: none"> ・自園給食と食育 ・年齢別保育と異年齢保育の融合 ・体育指導、音楽指導、英語教室、茶道 		
社会福祉への取り組み	<p>地域子育て支援拠点事業の経営</p> <p>一時預かり保育事業の経営</p> <p>相談窓口の開設</p> <p>地域活動への参加と情報発信</p>		

今年度の挑戦		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（K P I）
運営と業務	<p>■<u>広報活動の強化と運営の充実</u></p> <p>○地域活動への参加</p> <p>○ルンビニしんぶん、ホームページ</p> <p>■<u>保育環境の充実</u></p> <p>○安全かつ主体的保育環境を設定する。</p> <p>■<u>浅羽学園の取り組み</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで一般の方が閲覧できる部分を増加し、多くの人に園の様子を知ってもらおう。 ・主体性を育むため、様々な遊びの環境を設定する。 ・研修や交流会には積極的に参加し、就学に向けての連携に努める。
経営（財務）	<p>■<u>建物、備品等のメンテナンスと修繕</u></p> <p>■<u>定員充足率は120%を目標とする</u></p> <p>■<u>こまめな節約を心掛ける。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消防設備の修繕 ・乳児園庭固定遊具の買い替え ・5月までの入園内定数 106名 【目標】 108名 ・ホームページやチラシの設置等で園児募集を呼びかけていく。 ・職員全体に節約の意識を高める。

<p>者) 子 ど も と 保 護 者 (利 用</p>	<p>■ <u>子育てのサポートセンターとして機能する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 保育参観、参加を通して子育ての楽しさを知る支援をする。 ○ 絵本の読み聞かせを推進 ○ 家庭への食育推進 ○ 保護者へのアンケートを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事だけでなく、普段の生活の様子等をホームページで動画配信する。 ・ 行政や専門機関と連携を図り、保護者を支援する。 ・ 絵本の貸し出し。 ・ 食育だより、食育計画の充実。 ・ 保育の振り返りを行う。
<p>職 員 (人 材</p>	<p>■ <u>職員のスキルアップと働きやすい職場づくりを目指す。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 保育士等キャリアアップ研修や外部研修に、積極的に参加する。 ○ 業務における ICT 化を推進する。 ○ 保育士確保により安定した就労体制を目指す。 ○ 人間性を高め、視野を広げて自ら学ぶ職場とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園の組織表を確定し、園長、主任の他、副主任、専門リーダー、職務分野別リーダーを配置する。 ・ 各リーダーは日常の職務と研修に参加し後輩の指導に当たる。 ・ 人材確保のため、合同就職説明会等に積極的に参加する。 ・ 実習生やボランティア、見学者を積極的に受け入れ、職員のスキルアップを目指すとともに、就労に繋がるようにする。

事業所名称	ルンビニあゆみ園	定員	129名
サービス種別	幼保連携型認定こども園		
保育の特色・方針	<p>ルンビニあゆみ保育園は、「健やかな心」を育てるために、お釈迦様の教え、『仏教』を基本理念として保育します。</p> <p>園名の由来にもあるとおり、ルンビニ保育園同様、仏教保育をする保育園として創設されており、その保育目標を以下の3つとします</p> <p><生命尊重></p> <p>(1) めぐみの心を持ち、生命を尊重できる様に導く。</p> <p><修善></p> <p>(2) 善悪をみきわめ、絶えず正しい方に進む様に導く。</p> <p><協調></p> <p>(3) 自分の立場を考え、他と協調できる様に導く。</p> <p>個別対応の乳児保育担当保育をおこないます。</p> <p>遊びを通じ、子どもの主体性を育む保育をおこないます。</p>		
社会福祉への取り組み	<p>地域の子育て拠点として、園庭開放、子育て広場などおこないます。</p> <p>実習生、ボランティア、見学者の受け入れをします。</p>		

令和3年度の取り組み		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
運営と業務	<p>■<u>個別対応と担当保育の確立</u></p> <p>○個別対応未経験の職員に対する指導の徹底。</p>	○個別対応の理想的な在り方について見識を高める。
経営	<p>■<u>1号認定児の募集</u></p> <p>○1号認定児の入園につながるよう、地域への発信。子育て広場、園庭開放、チラシの設置、HPによる発信などおこなっている。</p>	<p>○4月当初入園児童数116名</p> <p>0歳児 7名 3歳児 27名</p> <p>1歳児 17名 4歳児 23名</p> <p>2歳児 18名 5歳児 23名</p> <p>内1号認定児は6名</p>
子どもと保護者	<p>■<u>保護者への情報発信</u></p> <p>○保育参観をはじめとする行事の実施。</p> <p>○保護者へのアンケート調査。</p>	<p>○おたよりだけでなく、ホームページで写真を多用し、園の保育を発信している。</p> <p>○職員の自己評価とともにHPにて公表。</p>
職員	<p>■<u>職員のスキルアップ</u></p> <p>○保育教諭のキャリアアップ研修や、各種外部研修に参加しやすい人員配置を計る。</p> <p>■<u>歳児別研究部会について</u></p> <p>○保育部門合同で、歳児別研究部会による研修を継続。</p>	<p>○三宝会の保育に合ったオンライン研修（全6回）なども取り入れていく。</p> <p>○それぞれの園に特徴があり、まったく同じではないが、基本的な部分を共有していく。</p>

事業所名称	ルンビニ保育室 花びら	定員	12名
施設・事業所類型	小規模保育事業所 A型		
保育の 理念と方針	ルンビニ保育室『花びら』は、小規模保育事業所(A型)です。 保育理念、保育方針はルンビニこども園・ルンビニ第二保育園の両園 に準じます。		
保育の特色	対象年齢は0.1.2.歳児。乳児保育担当制の保育を行います。		
社会福祉への 取り組み	浅羽中央公園の利用、および自治会奉仕作業への参加。 実習生、ボランティア、見学者の受け入れ。		

今年度の挑戦		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
運営 と 業 務	■個別対応と担当保育の確立 ・ 正規職員は、ルンビニこども園との異動あり。 ・ 指導及び、マニュアルの徹底 ・ 保護者と地域への情報発信	・ 個別対応の理想的な在り方について見識を高める。(マニュアル化) ・ おたよりにて、花びらの保育への理解を深める。公園での交流。 ・ 地域の奉仕作業へ参加 ・ 合同避難訓練の実施
経営 (財務)	■発達に合わせた環境構成・修繕 ■定員充足率 116%を目標 ■職員確保	・ 発達にあった玩具の買い足し ・ 危険箇所の見直しと修繕計画 ・ 4月 10名スタート【目標】 14名 (広告掲載・園児募集チラシの配布) ・ 職員募集活動を行い安定した職員数を確保する
子ども と 保 護 者	■個別対応 ・ 一人一人の家庭と育ちに寄り添い、個々にあった保育を提供する。 ・ 保護者の相談に乗り、助言と必要な援助を行う様務める。	・ 生活リズムの違いを把握し、子ども達にとって無理のない施設生活を 提供する。 ・ 必要に応じたカウンセリングを行う
職員 (人材)	■職員のスキルアップ ・ 保育士のキャリアアップ研修や、各種外部研修に参加しやすい人員配置をはかる。	・ ルンビニこども園との連携体制を確立し、研修に出られる機会をつくる ・ 園内研修の充実をはかる。